

# 授業改善の取組 ～先生同士の学び合い①②～

## 【目的】

教職経験の少ない教員が多数在籍するという現状があり、基本的な指導技術の習得を目指した。

### 学び合い授業①

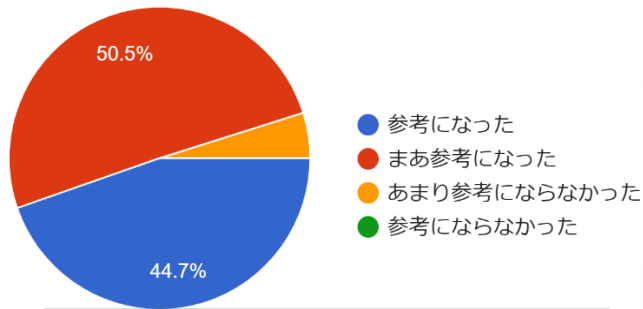


#### 【方法】

予め撮影した経験者の先生の授業動画を夏季休業中に視聴する。授業評価表に記入し、授業者に返す。

#### 【結果】

教職員アンケートでは、経験者の先生方の授業を見ることが、日々の授業づくりに役立つという声が聞かれた。99%が肯定的評価だった。



教職員アンケート結果



### 学び合い授業②



#### 【方法】

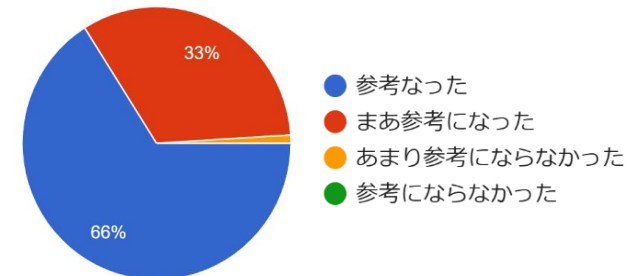
福北版ポイントリストの項目(各学部に応じたもの)を活用し、授業で行う項目に授業者がチェックを入れ、相担同士で授業を見合う期間を設ける(10月中)

#### 【結果】

福北版ポイントリストを用いて、項目を意識した授業を行うことができた。95.2%が肯定的評価だった。

年 級	名 前	実 施 日	日 日	教 科
指導者に役立つポイントリスト (小学部) Ver1				
授業前	1	ポイント(支援状況)		チェック欄
	2	授業が興味を惹き、意欲を高めるための教材を選んでいる。		
	3	前面のホワイトボード周りの掲示物を整理している。		
導入	4	授業が趣味的になれる導入の工夫がある。		
	5	練習が少ない中で、注目させてから指示・説明を行っている。		
	6	得意しをもって活動できるように、授業の大きな流れをいつも同じように設定している。		
	7	本時の目標を分かりやすく文字やイラストなどで伝えている。		
	8	時計やタイマーなどで活動の切り替えポイントを確認している。		
	9	指示・説明の後で、児童が理解したことを確認しながら、展開している。		
	10	個・二人・小集団等の複数の指導形態を取り入れている。		
展開	11	一つの指示により、一つの活動を促している。		
	12	授業の動線を考え、教材を配置している。		
	13	教材・教具を効果的に配置したり、児童に自ら選択させていたりしている。		
	14	次々と降り書きをできる順番を設けている。(特に算数科)		
	15	児童が自分の言葉や言葉、イラストなどを使って振り返りを行っている。		
	16	児童の良い姿を認め、評価している。		
	17	絵・写真・文字等の視覚的な手帳ややりとりした表紙、身体表現を併せて指示・説明を行っている。		
全体を促して	18	活動内容の理解を図るため、児童の様子又は完成品を示した写真等を提示している。		
	19	待ち時間を少なくするために、課題の難易度や量を調整している。		
※その他	20	項目にない点について、授業で実践されていることを見つけてほしい。		

### 福北版ポイントリスト



教職員アンケート結果

### 前期の取組

- ① 学校探検をする中で、わかりにくいロゴマークが多いことに気付く  
(校長室、事務室、職員室など)
- ② わかりやすいロゴマークの作成に向けて、情報収集  
(インタビュー)→何をする場所?どんな道具を使う?
- ③ ロゴマークの作成  
(iPadのアプリ上で、クラス内で共有)
- ④ 教職員にアンケートを実施  
(より分かりやすくするためには、どうすれば良いか)
- ⑤ 改善・完成  
(ロゴマークの掲示)

### 系統性のある学習活動

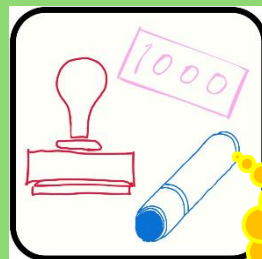
～前期に学んだことを後期生かす～

### 後期の取組

- ① 学校周辺の地域について知る  
(ゲストティーチャー(社会福祉士))
- ② 外部との連携により、高齢者向けサロンと繋がる  
(社会福祉協議会の協力)
- ③ 情報収集  
(体験・活動内容や困っていることなどをインタビュー)
- ④ ロゴマーク、ポスターの作成  
(グループやペアでの活動)
- ⑤ 完成・活用  
(完成したロゴマークとポスターをサロンへ持っていき、掲示してもらう)



校長室



事務室



掲示

作成

体験および  
インタビュー



インタビュー

